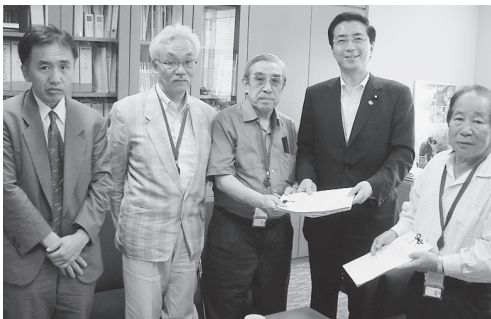


# 大阪選出議員に緊急要請 参院で増税法案の廃案を

協会・保団連



山下芳生議員 (右から2人目)

衆議院で可決された「消費税増税関連法案」と「社会保障制度改革推進法案」の参議院での廃案などを求めて、協会・保団連は7月12日、国会要請を実施した。協会から、下井戸昭介理事長、中西幹夫・森啓副理事長、古田光行監事と事務局員が参加した。

要請団は、「テナント料、技工料など、これ以上消費税が増えたらやっではない」「消費税を上げる前に富裕層や大企業から増税すべき」「増税によって今よりもますます歯科への受診率が低下する」などの

案を求めた。山下芳生参議院議員(共産)と面談し、「安心して受けられる医療の実現を求める請願署名」250筆、「保険で良い歯科医療」の実現を求める請願署名」63筆を託した。山下議員は「街頭宣伝など行っても、衆議院の3党談合で強引に決定したことへの怒りをひしひしと感じる。給料は下がっているし、そんな時に消費税だけ上げられたら生活ができない」などの声も多く聞く。宣伝や署名など国民世論を喚起していくことが大切だと述べ、廃案にむけ尽力する姿勢を示した。

## 院内集會に120人

撤回求め発言相次ぐ

12日の正午から、参議院の會議室で「医師・歯科医師は問う『消費税増税関連法案・社会保障制度改革推進法案』緊急院内集會が開かれ、全国の協会や国会議員から、「消費税増税関連法案」と「社会保障制度改革推進法案」の廃案を求める

「消費税の増税はやめ、医療への『ゼロ税率』を求める」署名に寄せられた会員からの声を伝えながら、大阪選出の国会議員に2法案の参議院での徹底審議と撤回を求めた。山下議員は「街頭宣伝など行っても、衆議院の3党談合で強引に決定したことへの怒りをひしひしと感じる。給料は下がっているし、そんな時に消費税だけ上げられたら生活ができない」などの声も多く聞く。宣伝や署名など国民世論を喚起していくことが大切だと述べ、廃案にむけ尽力する姿勢を示した。

## 7・12国会行動 要請議員一覧

- 【面談】参院〈共産〉山下芳生
- 【秘書対応】衆院〈民主〉稲見哲男、大谷信盛、熊田篤嗣、樽床伸二、辻恵、辻元清美、中野寛成、長尾敬、長安豊、樋口俊一、平野博文、藤村修、松岡広隆、森山浩行
- 〈自民〉近藤三津枝、竹本直一、谷畑孝、松浪健太、柳本卓治
- 〈第一〉大谷啓、熊谷貞俊、萩原仁、村上史好
- 〈公明〉池坊保子、佐藤茂樹
- 〈共産〉宮本岳志、吉井英勝
- 〈社民〉服部良一
- 〈きづな〉渡辺義彦
- 〈国新〉中島正純
- 参院〈民主〉梅村聡、尾立源幸、藤原正司
- 〈自民〉北川イッセイ、谷川秀善
- 〈公明〉石川博崇、白浜一良、山本香苗

(敬称略・順不同)

## 大阪市 生保指定制度を改悪 有期化や指導強化を明記

大阪市は、生活保護の医療扶助費削減を目的に7月13日、新規指定医療機関の有期化や指導強化を定めた要綱を制定した。8月1日から西成区で先行実施する。

要綱は、医療機関の新規指定に際し、①過去5年間に開設者・管理者が行政処分を受けていた場合は指定を認めない②指定後3年間の有効期間を設定③有効期間中に個別指導を実施し、「不正」などがあれば再指定を認めないことなどが盛り込まれている。

協会は、同要綱案に対するパブリックコメントを7月4日に提出。新規全面撤回を求めている。

指定に有効期間を定めることについて、「厚労省の見解を逸脱したもの」と厳しく批判した。医療機関の「不正の取り締まりでは、従来の枠組みでも取り締まりは可能」とした。その上で、同市が2010年に実施した実態調査で、「不正請求などの確証を得ることはできませんでした」と結論付けていることを示し、「個別指導を強化することは、不正摘発以外に目的があるのではないかと指摘した。また、西成区だけを先行実施することに對し、「差別的なやり方は道理を欠く」とし、要綱の全面撤回を求めている。

大阪市は、生活保護の医療扶助費削減を目的に7月13日、新規指定医療機関の有期化や指導強化を定めた要綱を制定した。8月1日から西成区で先行実施する。

要綱は、医療機関の新規指定に際し、①過去5年間に開設者・管理者が行政処分を受けていた場合は指定を認めない②指定後3年間の有効期間を設定③有効期間中に個別指導を実施し、「不正」などがあれば再指定を認めないことなどが盛り込まれている。

協会は、同要綱案に対するパブリックコメントを7月4日に提出。新規全面撤回を求めている。

大阪市は、生活保護の医療扶助費削減を目的に7月13日、新規指定医療機関の有期化や指導強化を定めた要綱を制定した。8月1日から西成区で先行実施する。



## 極秘裏に進むTPP交渉 米国企業の意向色濃く

アメリカの市民団体パブリック・シチズン(注1)は6月13日、TPPに関する52ページの秘密交渉文書(注2)の秘密交渉

文書(注2)を入手したとして公表した。ここには、投資家(多国籍企業)が相手国家を訴えることが出来る「ISD条項」によって、環境や労働、消費者行政など

TPPだが、実態はなかなか明確になってこなかった。その大きな理由は、TPP交渉が過去に例がないほど極めて秘密裏に進められてきたこと

5月にアメリカでTPP交渉が行われた際、市民団体とともにロビー活動に参加した全国労働組合連合の布施輔輔国際局長は、アメリカ通商代表部のカーク代表が「自分たちはゴールドスタンダードをつくっている」と述べたと語っている

## 基軸 TPP参加と日本の医療

ルポライター 矢吹紀人

「異常な契約」TPP交渉が行われた際、市民団体とともにロビー活動に参加した全国労働組合連合の布施輔輔国際局長は、アメリカ通商代表部のカーク代表が「自分たちはゴールドスタンダードをつくっている」と述べたと語っている

授は、「米政府は他国にならぬ通商交渉の際の民間アドバイザー制度を持っている。外国との交渉に実際の関係者の利害を反映する」が目的で、その構成メンバーの多くが民間企業などの関係者で構成されている(注1)日本

歯科医療の価値を高めるために、これから求められる役割

# デンタルコーディネーター

# 大阪ベーシックコース

歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、歯科助手、受付 どなたでもご参加いただけます。

日時 ◆10月13日(土) 13:00~18:00 食事会(無料) 18:30~20:30 ◆10月14日(日) 10:00~16:00

参加者の満足度 **99%**

- 満足 87%
- やや満足 12%
- やや不満 1%

※参加費、開催場所などのお問い合わせは… ☎06-4807-6866 (株)ハーモニックまで。

ハーモニック 歯科 検索